

風呂自動・給湯・暖房機能付
ヒーツ熱交換器ユニット

型式名
GS-P244T
GS-P504T

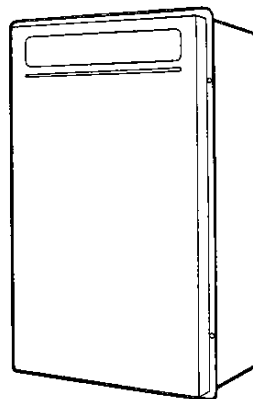
取扱説明書

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい使い方で上手にお使いください。

品番
49-653 (49-653J・653M)

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社	大阪市西区千代崎3-2-9	5	電話	大阪	C6(586)3200	〒550
南都支社	堺市住吉橋町2-2-1	9	電話	堺	C722(38)1131	〒590
北都支社	高槻市藤の里町3-9-6	6	電話	高槻	C726(71)0361	〒569
東都支社	東大阪市鶴葉2-3-1	7	電話	河内	C729(62)1131	〒578
兵庫事業本部	神戸市中央区東川崎町1-8-2	2	電話	神戸	C78(360)3100	〒650
京都支社	京都市下京区中堂寺粟田町1番地		電話	京都	C75(311)7361	〒600
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	1	電話	奈良	C742(44)1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1-5	5	電話	和歌山	C734(31)2481	〒640
姫路支社	姫路市神屋町4-8	8	電話	姫路	C792(85)2221	〒670
豊岡支社	豊岡市三坂町6-5	7	電話	豊岡	C796(23)2221	〒668
滋賀支社	草津市追分町字荒畑6-8-0	1	電話	草津	C775(82)5311	〒525
滋賀東支社	彦根市大東町1-2-1	1	電話	彦根	C749(22)3131	〒522
長浜営業センター	長浜市南浜原町3-4	4	電話	長浜	C749(82)7171	〒526
本社サービスセンター	大阪市中央区平野町4-1-2	2	電話	大阪	C6(202)2221	〒541



もくじ

	ページ
●安全に正しくお使いいただくために……	1
●機能と特長……	5
●各部の名称とはたらき……	6
●操作のしかた	
初めてお使いになるときは……	10
ふる自動運転……	11
追いだき運転……	13
給湯運転……	15
暖房運転……	17
現在時刻の合わせかた……	20
●日常の点検とお手入れ……	21
●凍結予防について……	22
●故障・異常の見分け方と処置方法……	23
●アフターサービス……	25
●仕様……	26

大阪ガス株式会社



安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですのでよくお読みのうえ、必ずお守りください。

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
	注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者等が損害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
	一般的な注意	アースを接続せよ
	一般的な禁止	分解禁止
	必ず行う	高温注意
		電源プラグを抜く

警告

使用電源について

- 銘板に表示してある電源(電圧・周波数)を使用してください。わからない場合は、販売店またはガス会社に連絡してください。

銘板

メーカー形式名

使用電圧
周波数
製造番号
製造年
製造番号

【使用電源の確認】

製造年月は、製造番号に表示されています。
例：95.01-000001では、「95.01」が1995年1月を表しています。

屋内用機器

この機器は屋内用ですので屋外に設置しないでください。
雨水侵入により故障の原因になります。

機器の設置(及び付帯工事)について

- 機器の設置・移動及び付帯工事はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。
- この機器はアース工事が必要ですので確認してください。

アース工事

注意

入浴時の注意

- 追いだき中や追いだき後は、浴槽のお湯の上部と下部とでは温度差があるので、入浴時には十分かまぜてください。(全自動式に適用)

高温注意

お願い

使用上の注意

- 補助具は、機器用の付属品あるいは指定の物以外は使用しないでください。
- 薬用入浴剤や洗剤の使用について
硫黄、酸、アルカリを含んだ薬用入浴剤や洗剤は熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。
(全自動式に適用)
- 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤、消臭剤または塩などが機器本体や配管などに付着した場合はすぐに一分水洗いをしてください。
- 飲用にお使いのときは朝一番などのように長時間使わなかった後、使い始めのぬるいお湯(洗面器一杯程度)は雑用水としてお使い、その後飲用水としてお使いください。
- 追いだきするときは、浴槽の水位が循環口より低いと、機器は停止します。(全自動式に適用)

- 入浴時の注意
浴槽のふるアダプターをタオルなどでふさぐと循環不良となり、お風呂が沸かれません。
- 雷時の注意
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、電源を切ってください。
- リモコンの注意
(1) リモコンは、子どもがいたずらしないように注意してください。
(2) リモコンには、水をかけないでください。浴室リモコンは、防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
- リモコンは分解しないでください。

禁止

水位確認

安全に正しくお使いいただくために

警告

火災予防のために

●スプレー缶厳禁

機器の周辺にスプレー缶を置かないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止



●引火のおそれのあるものの使用禁止

機器の周辺ではガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを使用しないでください。火災の原因になるものがあります。



禁止



使用上の注意

●やけどに注意

シャワー(上がり湯)を使う場合、最初に熱いお湯がでることがありますので十分注意してください。



高温注意

●お湯を止めた後に再使用する時、お湯の量を急に少なくした時、あるいは、万一機器の故障の際には一瞬、熱いお湯が出ることがあります。やけどの防止のために出始めのお湯は手や体にかけないでください。



高温注意

●子供に注意

浴槽のふろアダプターの周辺はあつくなりますので、湯たたりすると思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さな子供のいる家庭では注意が必要です。



禁止

異常時の処置

●万一異常な臭気、異常音が感じられた場合はあわてずに運転を停止して「故障異常の見分け方と処置方法」に従ってください。

●地震、災害などの緊急の際はあわてずに運転を停止してください。



運転スイッチを切る



お願い

家庭用以外に使わない

●本機器は家庭用ですので、業務用には使用しないでください。いちじろしく機器の寿命が縮まります。



禁止

停電のとき

●使用中万一停電した場合は、給水元栓を閉じてください。



給水元栓を閉じる



長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は、万一の熱媒漏れを防止するため熱媒元/バルブを開けておいてください。(P9参照)



熱媒元/バルブを開じる

設置状態の確認

●機器の設置にあたって次の項目をチェックしてください。

機器は水平な所(確実に設置できる所)に設置してあること。



確認



冬の凍結による破損防止について

●長期間ご使用にならない場合など、凍結のおそれがあるときは、お買い上げの販売店カガス会社にご相談ください。

●凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。

●再使用の場合は凍結がとけたあと、すべての給湯栓から水が出るのを確認し、機器及び配管から水漏れのないことを確認してください。



確認

機能と特長

風呂自動機能

- スイッチを押すだけで、浴槽へのお湯はり、追いだき、保温及び足し湯が自動でできます。

安定出湯

- 出湯量を調節しても能力範囲内では、常に安定した湯温が得られます。

快適暖房

- 暖房は、温水を使用するため、快適でお部屋の空気を汚しません。

簡単操作

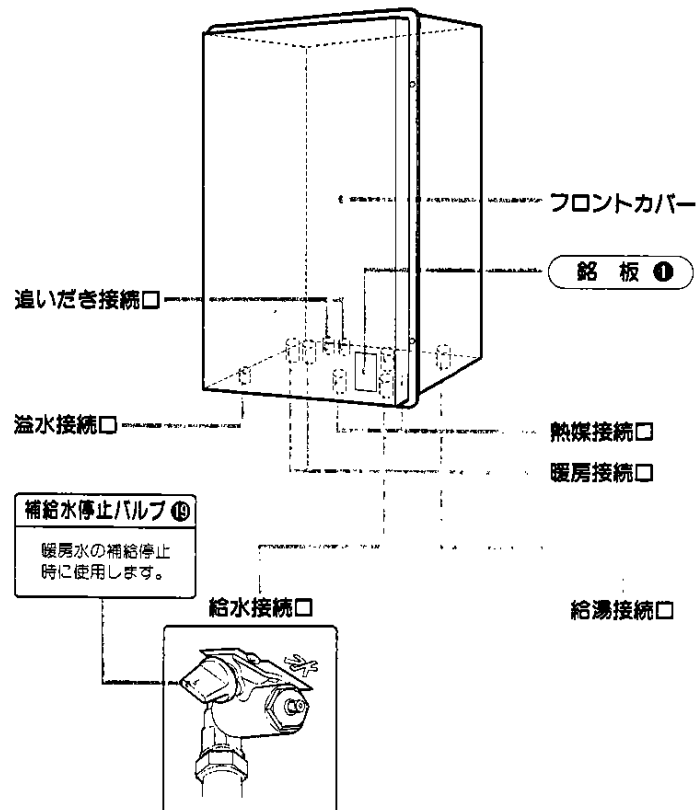
- 給湯は、給湯栓を開くだけで、自動的に運転をします。
- 暖房は、お部屋の放熱器の運転スイッチを入れるだけで、自動的に運転をします。
- 風呂は、浴室リモコンのスイッチを入れるだけで、自動的に運転をします。

暖房水自動補給

- 暖房水が不足した時、自動的に補給します。

各部の名称とはたらき

本体



- 内の数字は説明しているページを示します。

各部の名称とはたらき

浴室リモコン

●内の数字は説明しているページを示します。

表示説明

ふろ加熱表示

追いだし運転のとき表示します。

① ⑬

ふろ自動運転表示

ふろ自動運転中であることを表示します。

①

保温表示

自動運転でお湯はり完了し、保温運転に入ると表示します。

①

給湯運転表示

給湯運転ができる状態であることを表示します。

⑬

ふろ運転表示

追いだし・ふろ自動運転中であることを表示します。

①

湯ホット表示

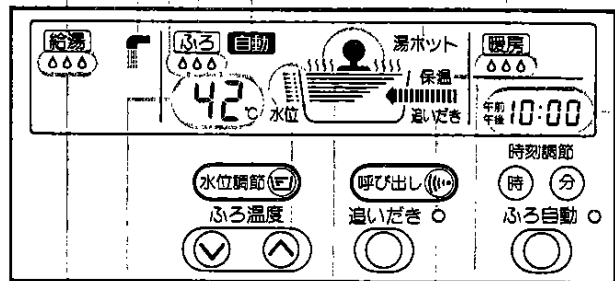
追いだしスイッチを押すと、追いだき中に表示します。

⑬

暖房運転表示

暖房運転中であることを表示します。

⑰



給湯加熱表示

給湯用熱源弁が開いているとき表示します。

⑬

水位設定表示

設定した水位の位置を表示します。

①

追いだき表示

追いだき・沸き上げ中に表示します。

⑬

時刻表示

現在時刻・予約時刻を表示します。

⑳

(予約時刻は別売のメインリモコンが取り付けられている場合のみ表示します。)

エラーコード表示

機器に異常があったとき、エラーコードを優先して表示します。

㉔

ふろ温度表示

ふろ側の設定温度を表示します。

沸き上がり表示

ふろが沸き上がると表示します。

暖房加熱表示

暖房用熱源弁が開いているとき表示します。

⑰

浴室リモコン

●内の数字は説明しているページを示します。

スイッチ説明

水位調節スイッチ

浴槽水位を設定するスイッチです。

①

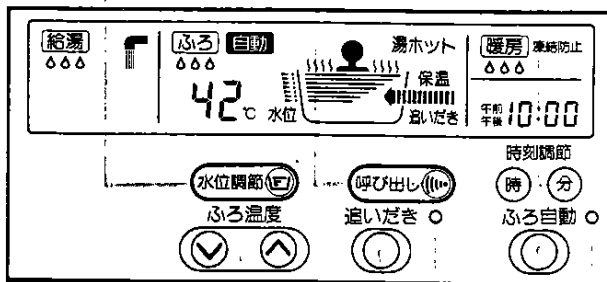
呼び出しスイッチ

押すとメインリモコンのブザーがなります。(別売のメインリモコンが取り付けられている場合のみ)

「時」「分」スイッチ

現在時刻を設定するスイッチです。

⑳



ふろ温度スイッチ

自動運転・追いだき運転するとき希望の温度に設定します。

⑬ ⑭

追いだき(湯ホット)スイッチ・ランプ

ふろを追いだきするときに「入」にします。追いだきスイッチを押すとランプが点灯します。

⑬

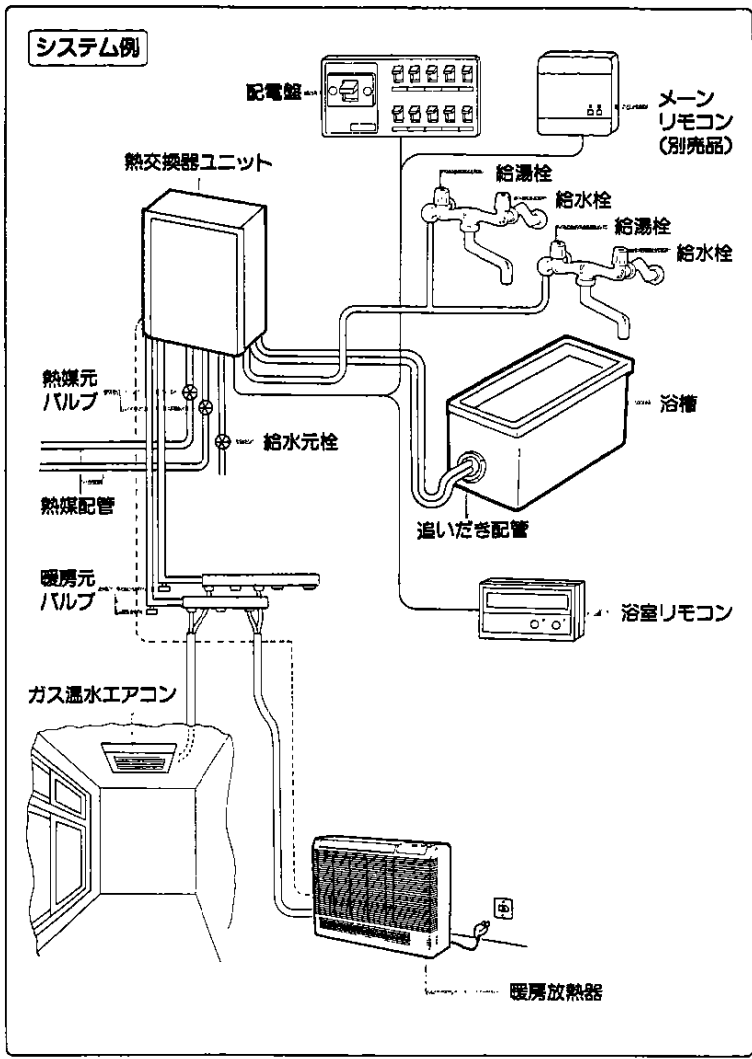
ふろ自動スイッチ・ランプ

ふろを自動運転するとき「入」にします。ふろ自動スイッチを押すとランプが点灯します。

①

各部の名称とはたらき

各部の名称とはたらき

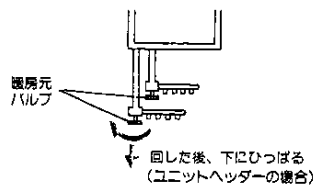


操作のしかた 初めてお使いになるときは

操作のしかた

初めてお使いになるときは

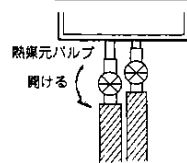
1. 暖房元バルブを全開にします



2. 給水元栓を全開にします

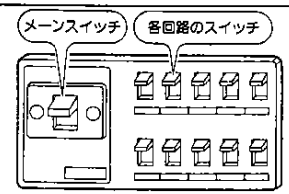


3. 熱媒元バルブを全開にします



4. 配電盤のスイッチを入れます

配電盤のスイッチがはいつていることを確認してください。
各回路のスイッチの中で、どのスイッチがこの器具に通じているかを確認してください。



(配電盤)

5. 浴槽の排水栓が閉まっているが確認します

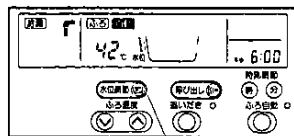
※排水栓の確認は、習慣づけるようにしてください。



操作のしかた ふろ自動運転

ふろ自動運転

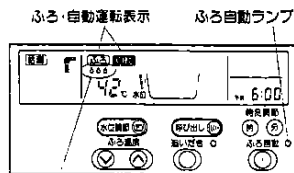
- 設定した湯温、水位に到達すると、ブザーでお知らせします。
- 沸き上がりから4時間、保温運転と、たし湯運転をします。



水位調節スイッチ

1 ふろ自動スイッチを押します

- 自動ランプ(緑)と「ふろ自動」の表示が出て、ふろの自動運転が始まります。
- ふろ加熱表示(△△△)が出ます。(泡いでき時のみ)
- ※ ふろ自動運転中でもふろ温度、ふろ湯量は、それぞれのスイッチで変更できます。



ふろ加熱表示 ふろ自動スイッチ

2 水位を設定します

- 水位調節スイッチで調節します。
- 水位設定表示の「1」(いちばん下のマーク)を基準水位とします。(基準水位は、浴槽の大きさや給水圧により上下します。)
- 1目盛で、約2cm水位が変化します。

水位調節(1) ← このスイッチで調節

- 水位矢印の位置を1目盛上げると、水位は約2cm上がります。(工場出荷時)
- 水位矢印の移動は、水位調節スイッチを1回押すごとに下の目盛に1つずつ移動し、最下目盛のときに押すと、1つ上の目盛に移動します。
- お好みの位置に移動するまで、繰り返し水位調節スイッチを押します。(ご注意) 浴槽の大きさによっては、水位設定を高くするとあふれる場合があります。

「水位の調節例」

ケース1. 水位矢印が下から4番目にあって、浴槽水位設定を約2cm上げたいとき……水位調節スイッチを7回押します。



ケース2. 水位矢印が下から4番目にあって、浴槽水位設定を約2cm下げたいとき……水位調節スイッチを1回押します。

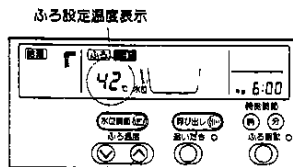


3 湯温を設定します

ふろ温度表示を見ながら、ふろ温度スイッチで、設定します。

ふろ温度
約36°Cから
約48°Cまで
調節できます

(設定温度を上げたいとき…▲を押します)
(設定温度を下げたいとき…▼を押します)



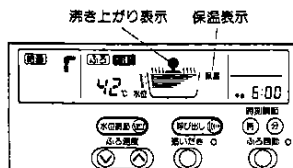
ふろ温度スイッチ

4 沸き上がるとブザーでお知らせします

● 沸き上がり表示と保温表示が出ます。

5 4時間保温運転と、たし湯運転とを行い、自動停止します。

- ふろ自動ランプ(緑)が消灯します。
- ふろ部分の表示が消えます。
- ※ ふろ自動運転時に注湯が一時停止することがありますが、異常ではありません。



押すとすべて停止

メモ

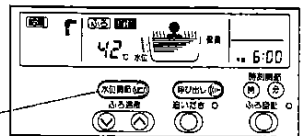
浴槽に、のこり湯のあるとき

- ふろ自動スイッチを押します。
- 設定した湯量までお湯はりし、設定温度まで自動的に沸き上げます。

たし湯運転について

ふろ自動運転中は、浴槽の湯が少なくなると自動的に「たし湯運転」をします。浴槽の水位が低い場合には、水位調節スイッチを押して、水位を上げてください。

水位調節スイッチ



(前回の水位が点滅します。希望の水位が点灯するようにします。)

ご注意

お湯はり中に給湯をすると



お湯はり完了するまでの時間が長くなります

お湯はり中の給湯使用は短時間にしてください。

操作のしかた 追いだき運転

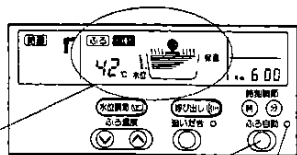
操作のしかた

途中で停止させたいとき

●ふろ自動スイッチを押します

- ふろ自動ランプ(緑)が消灯し、運転を停止します。
- ふろ部分の表示が消えます。

ふろ部分の表示が消えます



押すとすべて停止 ふろ自動ランプ

停電・断水・熱媒の供給が停止したとき

停電のとき…運転は停止し、すべてのランプおよび表示が消灯します。

再通電したときは、ふろ自動スイッチを入れなおしてください。

断水のとき…運転は停止しますが、**給湯** **ふろ** **自動**表示は表示したままです。

再通水したときは、ふろ自動スイッチを入れなおしてください。

(ただし5分をこえる断水時はエラーコード表示をします。102コード)

暖房水が不足しますと、安全装置が作動し、追いだきができなくなります。

このときは、再通水後、⑩ページの**再使用方法**の操作をしてください。

熱媒の供給が停止したとき…水張りのみ行い、ふろ自動ランプは点灯したままです。

追いだき運転

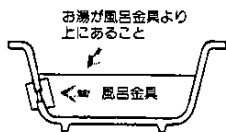
- お風呂を設定温度まで沸き上げます。

ご注意

お湯が風呂金具上面より上にあることを確認してください。



水位確認



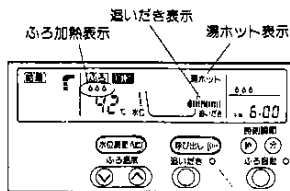
1 追いだき(湯ホット)スイッチを押す

- 追いだきランプ(橙)が点灯し、設定された温度に沸きあげます。

※浴槽内の水温が設定温度と同じときには、設定温度より(約2°C)高くなります。

- 運転中は、ふろ加熱表示/湯ホット表示、追いだき表示が出ます。

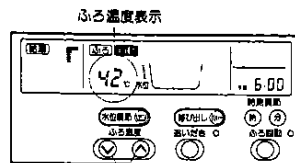
※湯ホット運転中でも、ふろ温度をふろ温度設定スイッチで変更できます。



追いだき(湯ホット)スイッチ ランプ点灯

2 ふろ温度表示を見ながら、ふろ温度スイッチで設定します

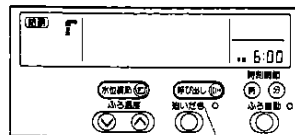
(設定温度を上げたいとき…**▲**を押します)
(設定温度を下げたいとき…**▼**を押します)



ふろ温度スイッチ

3 沸き上がると自動停止します

- 設定温度に到達すると、ふろ部分の表示が消えます。
- 追いだきランプ(橙)が消灯します。



沸き上がると消灯

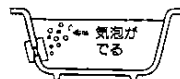
メモ

浴槽にお湯がなかったときに追いだき(湯ホット)を使うと

- 約4分間運転すると安全装置が作動して停止します。機器に異常は生じません。

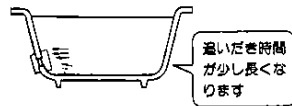
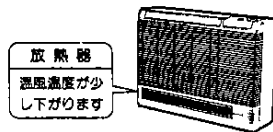
お湯がじゅうぶんあるときに追いだき(湯ホット)を使うと

- 運転音が少し大きくなります。
- 1~2分後、風呂金具より気泡が出ます。
- 4~5分で気泡は少なくなります。



暖房運転中に追いだき(湯ホット)を使うと

- 放熱器が1~2台の時はあまり影響がありません。
- 放熱器が多くなると下図のような影響が出やすくなります。このような時は、放熱器の運転を1~2台にしてください。



追いだき停止タイマーについて

- 追いだき時間が90分以上になると、自動停止します。特に大型浴槽の場合、希望の温度になる前に停止することがあります。この場合は、再度、追いだきスイッチを「入」にしてください。

停電・断水・熱媒の供給が停止したとき

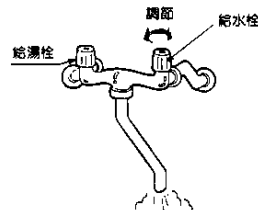
停電のとき…運転は停止し、すべてのランプが消灯します。また、すべての表示が消えます。再通電したときは、再度、追いだしスイッチを「入」にしてください。

断水のとき…断水をしてそのまま追いだし(湯ホット)を行います。暖房水が不足してくると、安全装置が作動し、追いだしができなくなります。(エラーコード表示「170」が点滅します)このときは、再通水後、⑩ページの「再使用方法」の操作をしてください。

熱媒の供給が停止したとき…90分間運転を行い、エラーコード「162」を表示して停止します。供給が再開された時、追いだしスイッチを再度「入」にしてください。

温度調節

- 機器は、約60°Cのお湯が出るように調節してあります。
- 60°Cよりも低い湯がほしいときは、水をまぜて調節してください。

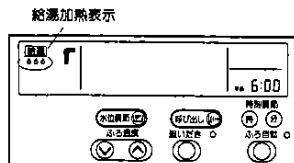


給湯運転

運転

●給湯栓を開けます

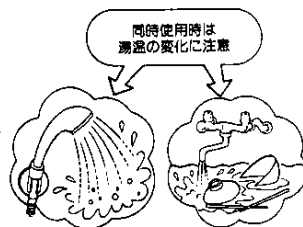
- 給湯加熱表示(△△△)が点灯し、お湯が出ます。



メモ

2箇所で使用するときはお湯の温度変化に気をつけて

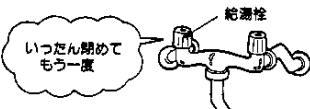
- 2箇所でも同時使用されると、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。また、熱いお湯が出ることもありますので、シャワー使用中は、特に注意してください。



メモ

お湯が出ないとき

- 再操作しても、お湯が出ないときは、サービスを依頼してください。



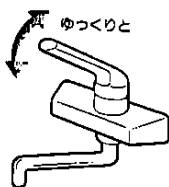
お湯が白くなるのは

- お湯が白くなることはありますが、これは、水の中の空気が分離して、気泡となったものですから心配ありません。



給湯栓はゆっくり操作で

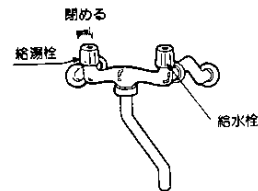
- 給湯栓(特にシングルレバー式)は急に閉めると、音がすることがあります。(これは水撃作用(ウォーターハンマー)によるもので故障ではありませんが、機器の寿命を短くすることがあります。ゆっくり操作してください。このとき、過圧防止安全装置から、少量の水が出る場合があります。



停止

●給湯栓を閉めます

- 約30秒後に給湯加熱表示(△△△)が消えます。



停電・断水・熱媒の供給が停止したとき

停電のとき…運転は停止します。再通電すると自動的に運転しますので、給湯栓を閉めてください。

断水のとき…運転は停止します。再通水すると自動的に運転しますので、給湯栓を閉めてください。

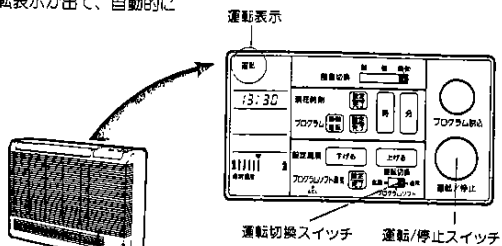
熱媒の供給が停止したとき…機器は運転していますが、お湯はでません。

暖房運転

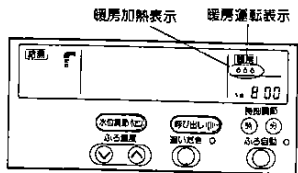
運転

● 放熱器のスイッチを入れてください

- 浴室リモコンに暖房運転表示が出て、自動的に暖房を開始します。



- 暖房加熱表示(△△△)は、室温により点灯↔消灯をくり返すことがあります。



メモ

放熱器の説明書も読んでください。

- 放熱器には、いろいろの種類があります。それぞれの説明書に従って操作してください。

運転しないときは再操作を

- 放熱器のスイッチを「切」に入してください。
- 再操作しても運転しないときは、サービスを依頼してください。

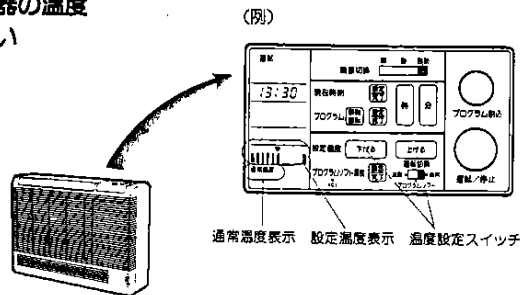
ご注意

放熱器の空気抜き栓は開けないで

- 空気抜き栓を開けると、漏水検知装置が作動し、運転できなくなることがあります。

温度調節

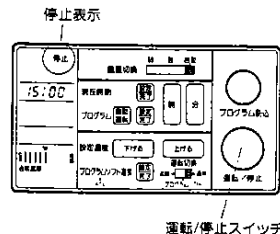
● 室温の調節は放熱器の温度調節でしてください



停止

● 放熱器の運転スイッチを「切」にする

- 自動的に暖房を停止します。
- 浴室リモコンの暖房運転表示、および暖房加熱表示(△△△)が消えます。



停電・断水・熱媒の供給が停止したとき

停電のとき…運転は停止します。

再通電すると運転を再開する放熱器と再開しない放熱器がありますので、放熱器の説明書をよくお読みください。

また、停電中は念のため放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。

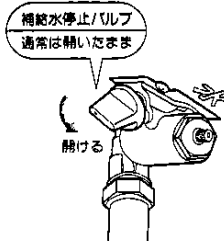
断水のとき…そのまま使用できますが、暖房水が不足しますと、安全装置が作動し、運転を停止します。このときは、再通水後、19ページの(再使用方法)の操作をしてください。

熱媒の供給が停止したとき…機器は運転していますが、暖房はしません。

暖房水の補給について

●暖房水は自動補給します

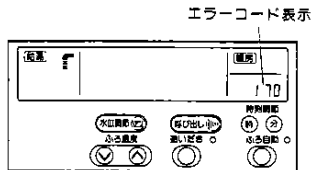
- 暖房水は蒸発などにより減少しますが自動的に補給されます。
本体下部の補給水停止バルブは、開いたままにしておいてください。



ご注意

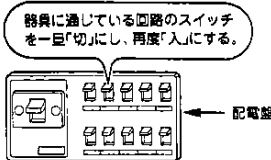
断水のとき

- 断水の時、暖房水が不足しますと、安全装置が作動し、通水しても、暖房および追いだきで使用できません。
- このような場合、時刻表示部に「170」のエラーコード表示が点滅します。
- 上記エラーの時は、**再使用方法**の操作をしてください。



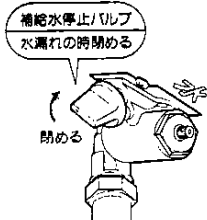
再使用方法

- 配電盤のスイッチの中で、器具に通じている回路のスイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。



機器や放熱器から水が漏れたとき

- 補給水停止バルブを閉め、暖房水の補給を停止し、使用を中止してください。



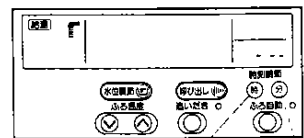
- 浴室リモコンの操作カバーを開けて行ってください。
- 電源が「入」の状態では「---」が表示します。
- 停電後の再通电後も「---」が表示します。
- 各スイッチの「入」「切」に関係なくセットできます。

●「時」スイッチを押します。

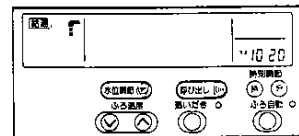
(例：現在時刻が午前10時20分の場合)
「時」スイッチを押して、「午前10:00」にします。

●「分」スイッチを押します。

「分」スイッチを押して、「午前10:20」にします。
(「時」「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して表示が変わります。)



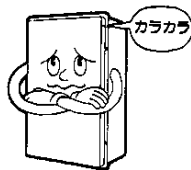
「時」スイッチ 「分」スイッチ



日常の点検とお手入れ

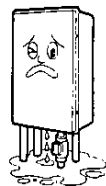
●異常音はありませんか？

- 異常音のときは、すぐ使用を中止し、お買い上げの販売店か、担当メンテ会社もしくは大阪ガスへ連絡してください。



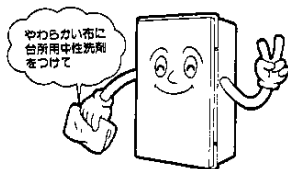
●水漏れはありませんか？

- 水漏れしているときは、すぐ使用を中止し、給水元栓、熱媒元バルブを閉め、お買い上げの販売店か、担当メンテ会社もしくは大阪ガスへ連絡してください。



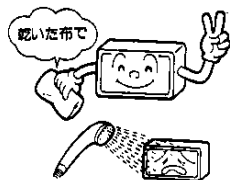
●器具は汚れていませんか？

- お手入れは、器具が冷えてから行ってください。



●浴室リモコンは乾いた布で！

- 汚れた場合は乾いた布で拭いてください。
- 浴室リモコンにシャワーの湯をかけたり、洗剤液をかけたりしないでください。



循環アダプターのフィルターの掃除(月に2~4回)

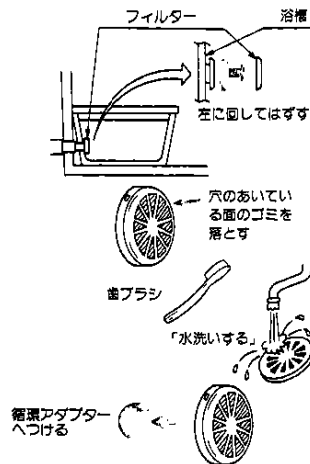
循環アダプターのフィルターにゴミや湯あかなどが付着すると追いつけられず、お風呂の湯が冷たくなる場合があります。

掃除の手順

- ①循環アダプターのフィルターを外す。
- ②使い古しの歯ブラシなどで汚れを落とす。

金属性のブラシなどは傷をつけますので使わないでください。

- ③水洗いをする。
 - ④循環アダプターへフィルターをつける。
- ※なおフィルターの掃除をしたあとは、必ずもとのように取付けてください。



凍結予防について

本機は凍結の心配のない場所に設置していただきますが、冬季に長期間使用しない場合など、凍結のおそれがある場合には、お買上の販売店か、担当メンテ会社もしくは大阪ガスにご相談ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

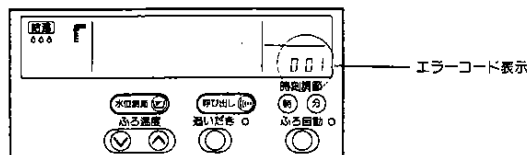
故障・異常の早見表

- 使用中に普段と違った状態になったときや、不具合が生じたときは下記の処置を行い、それでも直らないときは、ただちに使用を中止してお買い上げの販売店か、担当メンテナンス会社もしくは大阪ガスへ連絡してください。

現象	原因						処置方法	参照ページ
	ふろに湯がはれない・湯がでない	蛇口から湯が出ない・あつい湯が出ない	湯温が変化する	ふろの湯量が毎日変化する	風呂の湯が上がりがいづつ減り速い	暖房が効かない、またはききが悪そう		
電源が切れている	●	●					配電盤のスイッチを入れる	10
熱媒が供給されていない		●			●	●	熱媒元バルブを開ける	—
給水元栓の開きが不十分	●		●				給湯栓をいったん閉めてから給水元栓を全開にする	10 17
水圧が適切でない	低い	●	●	●	●		点検を依頼する (他に原因がないとき)	—
凍結している	●	●					解凍するまで使用を中止する	—
混合水栓の目詰り		●	●				点検を依頼する	—
ふろ金具カバーの目詰り	●				●		カバーを外して掃除する	22
給湯栓の開き不足		●	●				給湯栓を全開にする	15
放熱器の故障						●	点検を依頼する	—
安全装置が作動	●	●				●	点検を依頼する	—
暖房を行っている					●		放熱器の運転を1～2台にする	14

●故障表示と処置方法

- この機能には、不具合が生じたときに、その原因をエラーコードで知らせる機能が浴室リモコンにあります。下表にその一覧を示します。



表示	原因	処置方法	参照ページ
102	5分をこえる断水があった。	自動運転を一度停止し、再度自動運転をしてください。	13
162	追いだき運転を90分以上連続して行った。	追いだき運転を一度停止し、再度、追いだき運転をしてください。	15
032	浴槽の排水栓が抜けている。	栓をして最初から操作してください。	—
170	断水があり、暖房水が不足した。	再通水後、電源プラグを抜き差ししてください。	19

上記のことをしても直らない場合、また上記以外のエラーコードが表示された場合はお買い上げの販売店か、担当メンテナンス会社もしくは大阪ガスへ連絡してください。(このとき、エラーコードの番号をご連絡ください。)

アフターサービス

アフターサービス

サービスを依頼されるときは

- 異常のあるときは、お買い上げの販売店か、担当メンテナンスもしくは大阪ガスへ連絡してください。
- アフターサービスのお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
 - (1)機種名 49-653(49-653J・653M)
 - (2)お客様の氏名・住所・電話番号・道順
 - (3)故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
 - (4)機器購入日および訪問ご希望日

保証について

- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打切り後10年です。

アフターサービスなどについてわからないとき

- お買い上げの販売店か、担当メンテナンスもしくは大阪ガスにお問い合わせください。

長期間使用しない場合

お買い上げの販売店か、担当メンテナンスもしくは大阪ガスへ連絡してください。
特に冬期は凍結による破損防止処置が必要ですので、注意してください。

仕様

仕様表

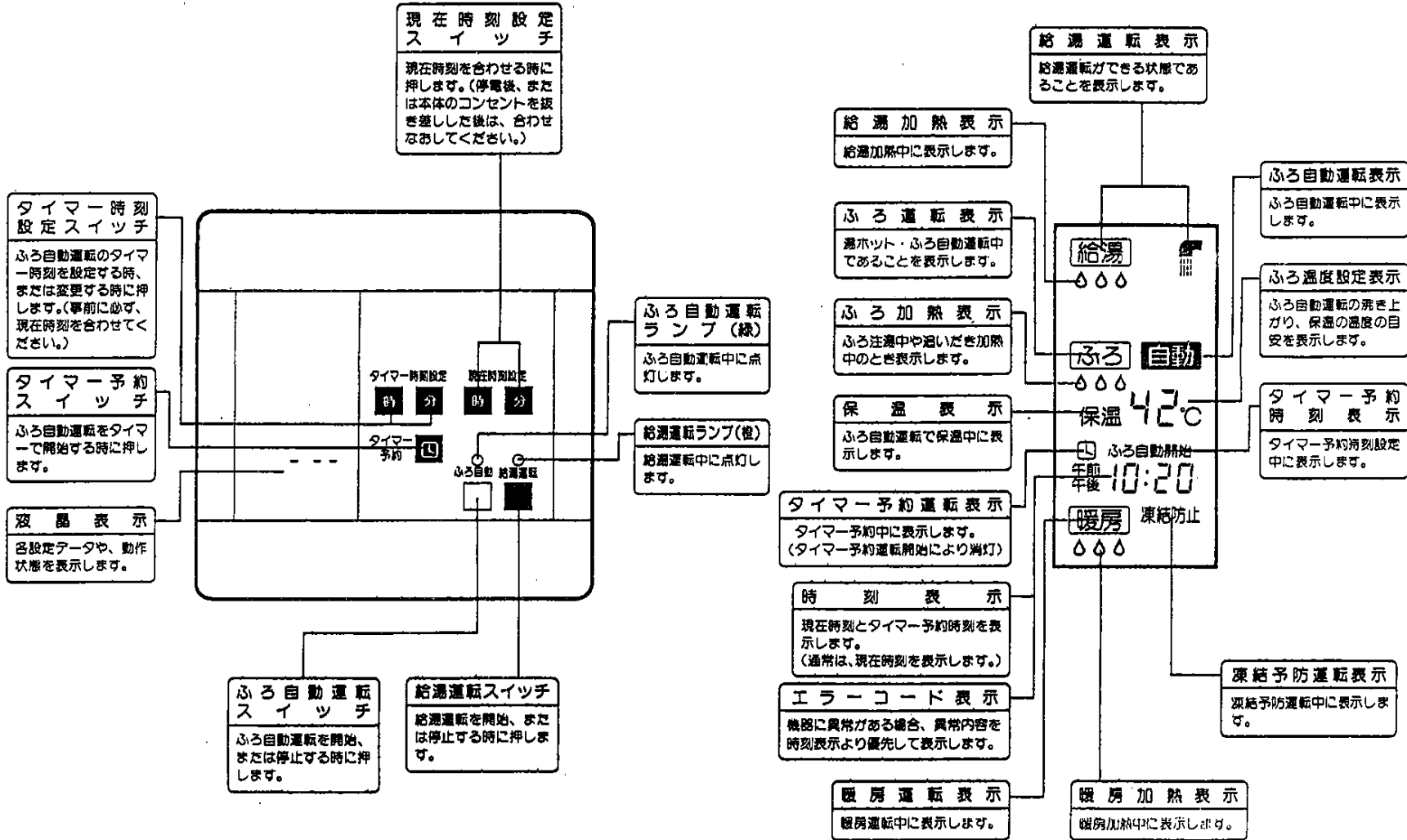
仕様

項目	仕様		
品名	ヒート熱交換器ユニット		
機種名	49-653J	49-653M	
型式	GS-P244T	GS-P504T	
標準出力 (kcal/h)	給湯	24,000	48,000(単独使用時)
	暖房	5,500	6,500(単独使用時)
	追焚	5,800	6,300
熱媒系統	温度	90℃	
	機体圧力損失	5mH ₂ O (バルブ全開時)	
	循環流量	16ℓ/min	23ℓ/min
	常用圧力	10kg/cm ² 以下	
給湯所要水圧	1.5kg/cm ² 以上		
最大出湯量	8ℓ/min	15ℓ/min	
給湯湯温制御	約60℃(一定)		
暖房湯温制御	約75℃		
暖房機外揚程	7.0mH ₂ O (at 10ℓ/min)		
暖房水膨張吸収容量	0.8ℓ		
風呂湯温制御	約36℃～48℃の調節可能		
追焚湯温制御	約36℃～48℃の調節可能		
風呂水位調節	7段階に調節可能		
追焚機外揚程	6mH ₂ O (at 10ℓ/min) 目吸能力3mH ₂ O		
電気	電源	単相100V 60Hz	
	定格消費電力	230W	
製品重量	39kg		
外形寸法(mm)	390(幅)×750(高さ)×300(奥行)		
接続口径	熱媒	20A (G3/4オネジ) (往き・戻り)	
	給水	20A (G3/4オネジ)	
	給湯	20A (G3/4オネジ)	
	暖房	20A (G3/4オネジ) (往き・戻り)	
	追焚	15A (G1/2オネジ) (往き・戻り)	
	オーバーフロー	15A (R1/2オネジ)	
	電線管	CTC31 オネジ2ヶ	
別売品	メインリモコン・壁掛金具		

※本仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

スイッチ、ランプ類の説明

液晶表示の説明



ふる自動運転のしかた

(1) ふる自動スイッチを押します。

(2) 再度押すと、解除されます。

- ふる温度、ふる水位の設定は、浴室リモコンで行ってください。
(排水栓の閉め忘れがないか、確認してください。)

給湯運転のしかた

(1) 給湯運転スイッチを押します。

(2) 給湯栓をあけます。

現在時刻の合わせかた

- 機器本体の電源が「入」の状態では「---」を表示します。
- 停電時の再通電後も「---」を表示します。
- 各スイッチの「入」「切」に関係なく、セットできます。
(ただし、エラーコード表示が出ている場合は、セットできません。)

(例) 現在時刻が、午前10時20分の場合

- 現在時刻設定 **[H]** **[M]** スイッチを使用します。

(1) 「時」を合わせます。

[H] スイッチを押して、「午前10:00」に合わせます。

(2) 「分」を合わせます。

[M] スイッチを押して、「午前10:20」に合わせます。

(**[H]** **[M]** スイッチは、一度押すと、各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると、連続して表示が変わります。)

(参考) 「時」「分」の表示サイクルについて

(1) **[H]** スイッチを押すごとに、時刻表示が、「午前1:00」→「午前2:00」……→「午前11:00」→「午後0:00」……→「午後11:00」→「午前0:00」→「午前1:00」のサイクルで変わります。

(2) **[M]** スイッチを押すごとに、時刻表示が、「午前0:01」→「午前0:02」……→「午前0:59」→「午前0:00」→「午前0:01」のサイクルで変わります。

タイマー運転 (タイマー時刻の合わせかた)

- 現在時刻を合わせないと、使用できません。
まず、現在時刻を合わせてください。
- 各スイッチの「入」「切」に関係なく、セットできます。
(ただし、エラーコード表示が出ている場合は、セットできません。)

(例) タイマー時刻(ふる自動運転開始時刻)を

午後5時30分に合わせるとき

- タイマー時刻設定 **[A]** **[S]** スイッチを使用します。

(1) 「時」を合わせます。

[A] スイッチを押して、「午後5:00」に合わせます。

(このとき、時刻表示の上に「ふる自動開始」が表示されます。)

(2) 「分」を合わせます。

[S] スイッチを押して、「午後5:30」に合わせます。

(約1秒後に、タイマー時刻が点滅して、現在時刻表示に戻ります。)

(3) 時刻設定を変えるとき

上記(1)(2)と同じ方法で行ってください。

(4) 時刻設定を確認したいとき

タイマー時刻設定 **[A]** **[S]** どちらかのスイッチを押してください。

(約1秒間、タイマー時刻を点滅して表示します。)

プザーについて

- 浴室リモコンのコールスイッチを押している間、メーンリモコンのプザーがなります。
- ふる自動運転で、ふるが沸きあがりますと、プザーでお知らせします。

タイマー運転のしかた

(1) タイマー時刻を設定した後、タイマー予約スイッチ **[T]** を押します。(**[T]** が表示されます。)

(2) タイマー運転を解除したいときは、再度、タイマー予約スイッチ **[T]** を押します。(**[T]** の表示が消えます。)

エラーコード表示について

- 機器に異常があったとき、エラーコードを時刻表示より優先して表示します。
(詳しくは、機器本体の取扱説明書をご覧ください。)